

みんなに愛される動物園をめざして



僕

は人生に寂しくなると、長野の小諸市動物園の雌ライオン、ナナちゃんのことを思い出します。

この言葉は、人気作家の村上春樹さんが期間限定のインターネットサイト「村上さんのところ」で取りあげられた言葉です。「ナナちゃん」とは、2004年に東京都の多摩動物公園から小諸市動物園にきたライオンで今年15歳になります。

ナナちゃんの優しい目に惹かれた村上さんは、ナナちゃんの柵の前で長い時間過ごしていたとされています。

サイトをご覧になられた方が早速、動物園に来て、村上さんと同様に、ナナちゃんの前でゆっくりとした時間を過ごされています。

み

んなに愛される動物園をめざして、小諸市動物園では、様々なイベントを開催しています。

動物とのふれあい体験はもちろんのこと、夜の動物の生態に迫る「ナイトZOO」や全国的にも話題が沸騰した「流しアジ」があります。特に夏に開催する「流しアジ」は、流れるアジをペンギンが追いかける様子がかわいく人気があります。

小諸市動物園は、みんなに愛される動物園をめざして、常にお客様の視点に立ち、90年続く歴史を大切にしながら、これからも県内で最も古い動物園として歩みを進めています。

皆様のご来園を心よりお待ちしております。



▲夜の動物園を散策する「ナイトZOO」。昼間とは違う楽しみがあり、動物とのふれあいも体験できる。



▲今や、夏の風物詩ともいえる小諸市動物園の「流しアジ」。今年も多くのお客様で賑わいを見せた。



▲動物とのふれあいが人気で、シカのエサやり、ポニーの乗馬体験などがあり、リクガメにさわることができる。